

平成26年度第1回青森市指定管理者選定評価委員会（会議概要）

- 1 対象施設 青森市新青森駅西口駐車場、青森市新青森駅南口駐車場
- 2 開催日時 平成26年4月28日（月） 14:20～14:45
- 3 開催場所 青森市役所第2庁舎2階庁議室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 相馬 紳一郎（市民政策部次長）
委員 舘田 一弥（財務部理事次長事務取扱）
委員 能代谷 潤治（健康福祉部理事次長事務取扱）
委員 成田 聖明（教育委員会事務局理事教育次長事務取扱）
委員 岩船 彰（青森中央学院大学教授）
委員 佐々木 信一（東北税理士会青森支部税理士）
 - (2) 施設所管課（事務局） 道路維持課 課長 八戸 認
副参事 永澤 治
主幹 新山 明德
 - (3) 制度所管課 政策推進課 課長 佐々木 淳
主幹 福島 清裕
主事 小野 寛史
- 5 欠席者 鈴木 裕司 副委員長（総務部理事次長事務取扱）
- 6 議題 指定管理者制度導入の適否に係る審査
- 7 会議概要

配付資料に基づき、事務局（道路維持課）から、施設概要や指定管理者制度導入の検証内容等を説明。募集については、指定期間は5年間、利用料金制は導入せず、募集形態は公募とすることを説明。

(1) 審議結果

指定管理者制度を導入する目的の一つである経費の節減について、指定管理者制度導入前と導入後の人件費等の積算額を精査した上で、再審査することになった。

(2) 主な質疑内容

委員：現行の委託料に対して節減効果が小さくても、指定管理者制度を導入しなければいけないのか。

事務局：節減効果が少しでもある以上、指定管理者制度を導入するメリットになる。また、指定管理者にとっては、5年間、安定的に雇用できるというメリットもある。

委員長：委託時の人員と人件費は、指定管理者制度の導入によってどのように変わるのか。指定管理者制度導入前と導入後を対比して分かるような積算シートを出していただきたい。

事務局：早急に積算シートを作成し、次回の委員会で説明したい。

委員：「サービスの充実」とは料金を安くすることなのか。

事務局：駐車場が満車になった際に、どうすれば苦情が減り、また利用する人に安心感を持っていただけるのかということ。指定管理者制度導入後は、民間の駐車場と協力し、満車になっても、他の駐車場にまわせるような仕組みを作れるのではないかと考えている。

委員長：それでは事務局に課題等を整理してもらった上で、再度、委員会を開催して審査したい。